

## 単元名 Let's Talk 1 お問い合わせ ―許可する・依頼する―

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 身近な人に許可を求める表現や依頼する表現の意味や働きを理解したり、伝えたり、答えたりすることができる。また、英和辞典の構成要素について理解することができる。  
 (2) したいことや頼みたいことを伝えるために、その場の状況を考えながら、身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりすることができる。  
 (3) したいことや頼みたいことを伝えるために、その場の状況を考えながら、身近な人に許可を求めたり依頼したり、それに適切に応答したりしようとする。

## 標準的な展開例

10250202\_001

【準備等】 デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Let's Talk1 身近な人への許可や依頼の仕方を学習する。  ★身近な人に許可を求めたり、依頼したりする方法を学習しよう。  ○STEP1を行う。</p> <p>○Today's Pointで許可・依頼の表現を学習する。</p> <p>○STEP2でモデル文を用いて練習をする。</p> <p>○STEP3を行う。</p> <p>2 学び方コーナー③ 辞書の使い方を知る。  ★辞書の構成要素を確認しよう。  ○辞書の構成要素を知る。</p> <p>○Let's Tryを行う。</p> <p>3 Grammar for Communication 三人称単数現在形の使い方・形を学習する。  ★学習事項をまとめ、単元テストに取り組もう。  ○疑問詞の使い方・形を学習する。</p> <p>○単元テストに取り組む。</p> <p>○Unitの目標を振り返り、できるようになったことや今後の学習の課題を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでさまざまな会話内容を考える。</li> <li>・日本語で考えた後、英語ではどのように言ったらよいかを考えさせる。</li> <li>・Can I…?とCan you…?の違いを生徒に英語でいくつか質問しながら気付かせる。</li> <li>・Can I…?とCan you…?の違いを日本語で確認する。</li> <li>・場面を想像しながら音読して、意味を確認する。</li> <li>・ペアで実際に演技練習をして、指導者の下でミニスキットを発表する。</li> <li>・ジェスチャーを付けてスムーズに演じることができたら合格とする。</li> <li>・それぞれの場面が、Can I…?とCan you…?のどちらを使うのが自然かをペアで考えさせ、実際に対話をさせる。</li> <li>・Tool Boxの表現を用いて、質問に対する答えを工夫させる。</li> </ul> <p>【評】 身近な人に依頼をしたり許可したりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ単語でも、複数の品詞や意味があることを理解させる。</li> <li>・品詞それぞれの特徴を説明する。</li> <li>・数えられる名詞と数えられない名詞があることに触れる。</li> <li>・文章を考える際には例文を活用することを伝える。</li> </ul> <p>【評】 辞書で英文の内容に合った語の意味を引く取組を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書付属の問題や教師の自作した問題に取り組ませ、基本表現の定着を図る。</li> </ul> <p>【評】 単元テストを通して、学習事項についての「知識・技能」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。

各授業の帯活動として、p56を利用した会話練習を「スモールトーク」として定期的に行っていき、英語を言語として使用することに慣れさせていきたい。